

平成31年度（令和元年度）摂津市「学力定着度調査」の結果（12月11日実施）

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数										
鳥北小平均	66.5	73.5	80.9	74	69.1	73.3	72.6	72.9	68.9	67.2	63.9	73.5
摂津市平均	70	76.2	78.4	70.7	68.3	65.8	72.7	71.9	69.3	62.4	62.7	72.6
全国平均	72.5	81.1	83.2	76.6	72.4	70.4	75.4	68.5	72.8	60.6	69.2	73.9

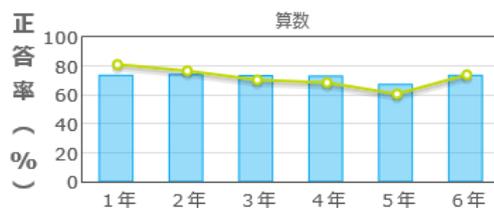
     は摂津市平均を超えた学年・教科。      は全国平均を超えた学年・教科です。

（ただし、4年生の算数と5年生の算数は、摂津市平均が全国平均を超えています。）

12の学年・教科の内、8項目が市平均を上回りましたが、まだまだ市内の上位ではありません。

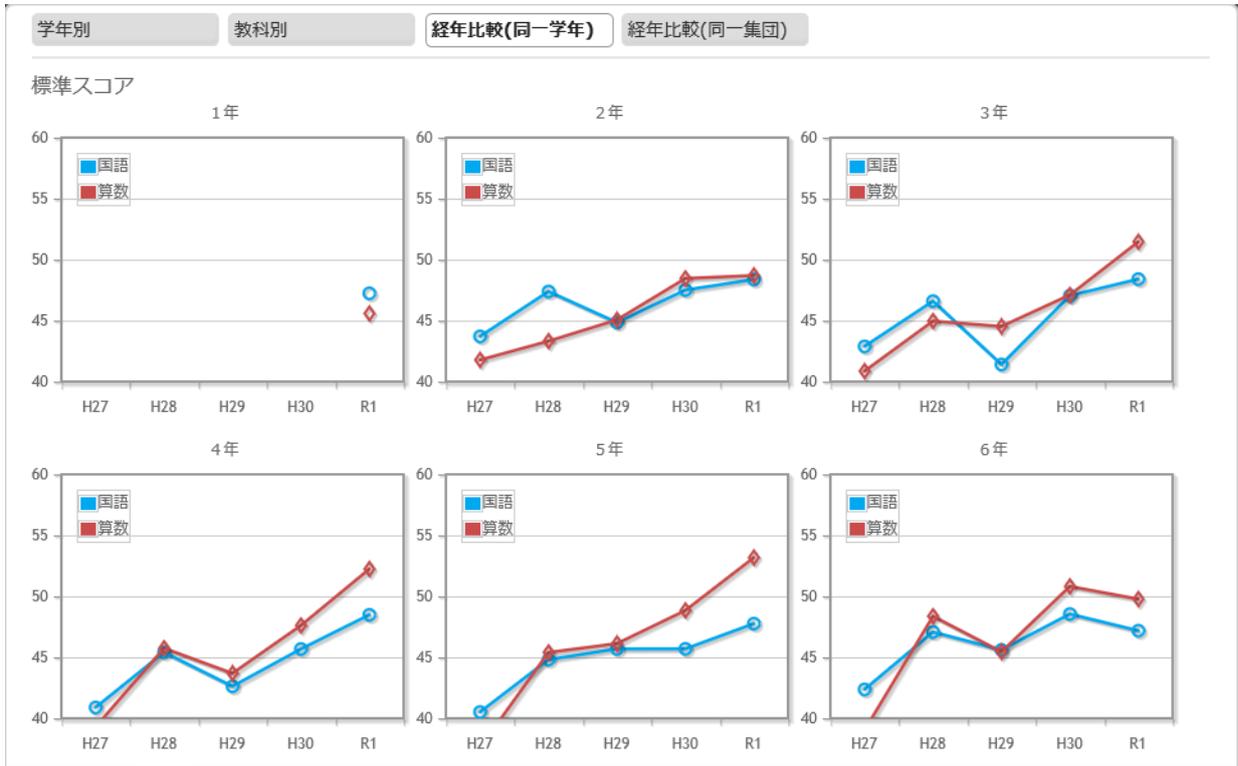
6年生は、4月当初の全国学力・学習状況調査に比べて、それ以降の大きな頑張り・成長が見られます。

■ 校内 ■ 全国



「標準スコア」のグラフは、全国平均を50とした時の、本校の位置を表しています。

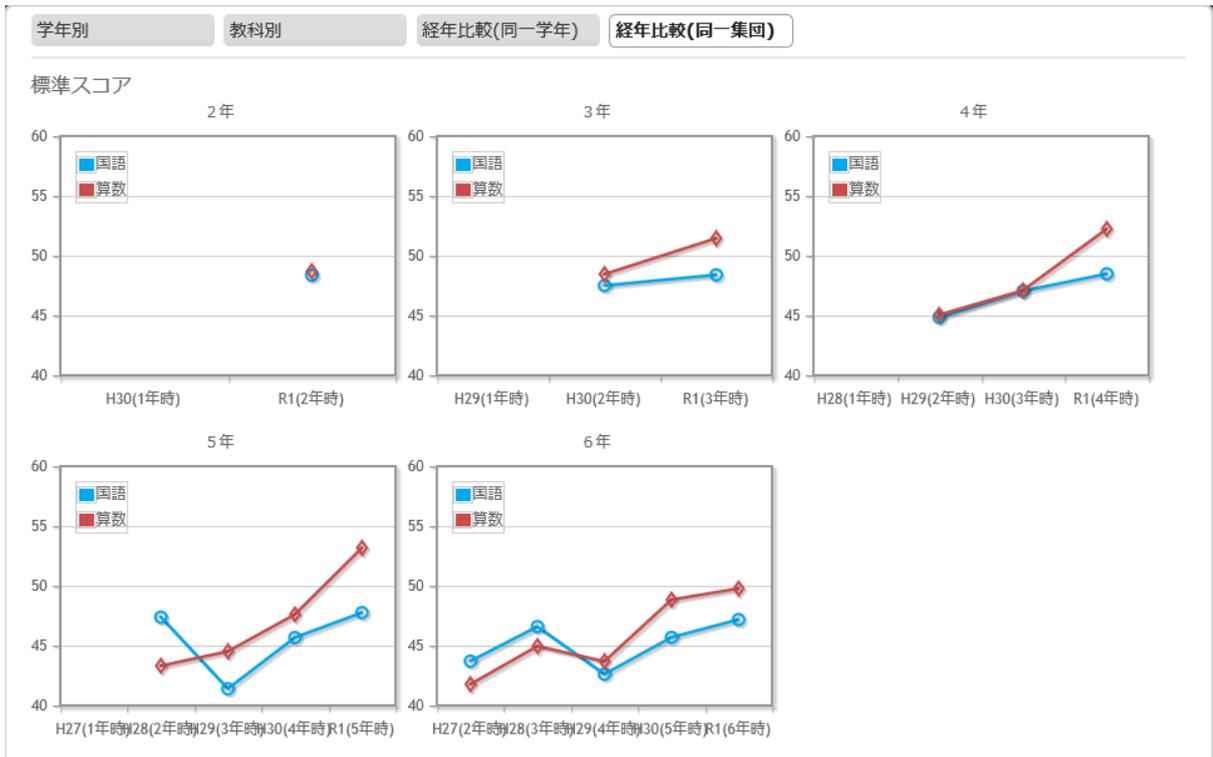
- ・算数の3・4・5年生が全国平均を上回っています
- ・6年生はあとわずかです。(0.4ポイント)
- ・国語は全学年、全国平均を下回っています。「基礎」はほぼ目標値に到達していますが、「活用」は課題あり。身につけた「基礎学習」を自分の言葉で表現するなど、活用分野を意識した授業改善をさらに進めていく必要があります。
- ・ただし、6年生の活用領域「作文」だけは、練習の成果が出て、正答率全国平均68.4%に対して82.3%とかなりの好成績を収めました。
- ・1年生は、国語・算数とも大きく下回っています。
- ・算数では、「基礎」分野が「活用」分野を少し上回りますが、その差は大きくありません。



- ・ 全国平均を50としたときの、「同一学年」の経年変化です。
- ・ 「同一学年」とは、昨年度の学年と、今年度の学年をくらべたものをグラフ化しています。
- ・ 1年生は昨年度までこの調査を行っておらず、今年初めての実施なので比較できません。
- ・ 2年生から5年生は、すべて「右肩上がり」で、年々頑張りの成果が表れていることがわかります。
- ・ 6年生は去年の6年生（今の中学1年生）より、全国との差が大きくなっています。



本校キャラクター「キタッピ」



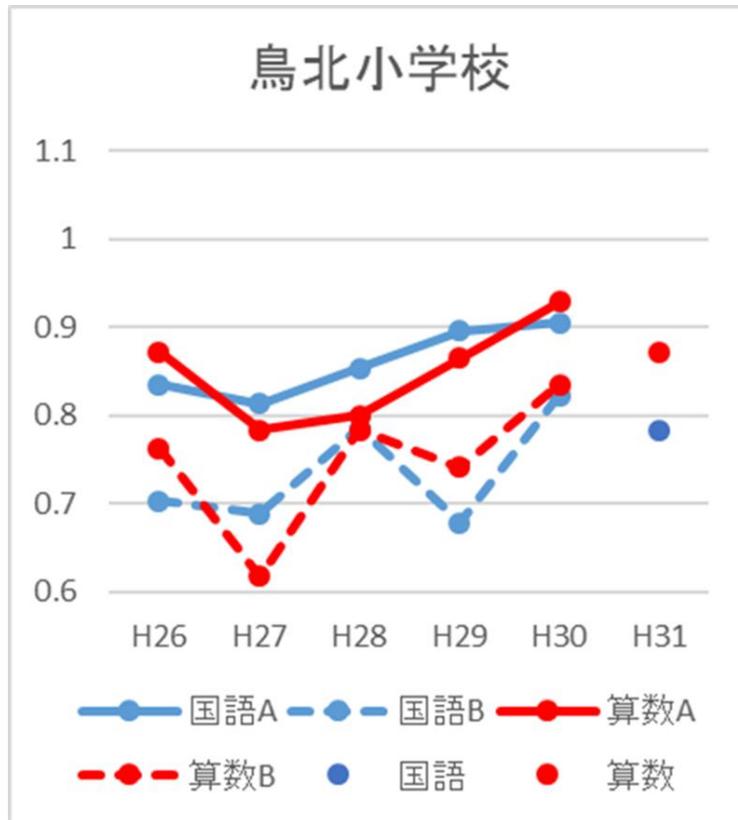
- ・全国平均を 50 とした時の、「同一集団」の経年変化です。
- ・「同一集団」とは、例えば、今の 3 年生が、去年 2 年生だった時にどうだったかということグラフ化しています。
- ・2 年生は去年受けていないので比較できません。
- ・どの学年も「右肩上がり」で、とても頑張っていることが分かります。
- ・特に 4 年生、5 年生の算数で大きな頑張りが見えます。
- ・6 年生も、6 年間の中で一番よく頑張りました。

全体を通した◇成果と◆課題、そして対策

国語	<p>◇基礎的な問題の正答率が経年比較で上がってきている。</p> <p>◆活用問題が弱い。</p> <p>◆常体・敬体など、答え方のミスが目立った</p>	<p>・書き方の指導を含め、3 次の創作活動に力を入れていく。</p> <p>・語彙を増やすため、辞書引き学習に力を入れていく。</p>
----	--	--

算数	<p>◇各学年のつまづきに対して繰り返し練習を行ったことで、定着した。</p> <p>◆説明を書く問題に対して、苦手意識がある。</p>	<p>・算数的用語を使って、普段から自分の考えを説明する活動を取り入れる。(ノートに記述・ペアワーク等)</p> <p>・日々、くり返し反復練習等を行い、基本的な計算力の向上に力を入れる。</p>
----	--	--

平成31年度全国学力・学習状況調査（4月18日、6年生で実施）



	国語		算数	
	正答数	正答率	正答数	正答率
全国	8.9問/14問中	63.6%	9.3問/14問中	66.4%
大阪府	8.4問/14問中	60%	9.3問/14問中	66.4%
摂津市	7.8問/14問中	56%	8.8問/14問中	62.8%
本校	7問/14問中	50%	8.2問/14問中	58.6%

- ・今年度から基礎的なA問題と活用を測るB問題が一つにまとめられました。
- ・国語は昨年度より落ち込みが大きく、算数は昨年のAとBの間に位置しており、昨年並みと言えます。
- ・記述式問題における全国との差は大きく、また、国語の漢字や算数の小問など、基礎的な問題の取りこぼしも多数ありました。
- ・国語・算数とも、「正答数」を見てください。あと1問正答数が上がれば、市平均を超え、あと2問上がれば全国平均を超えます。
- ・現在の5年生！全国学力・学習状況調査は、5年生までの学習内容が出題されます。臨時休校中・春休み期間中にしっかり計画を立てて、学習していくことが大切です。

## 今年度の学力向上の取り組み

1. 『宿題タイム』・・・週4日、終わりの会の後、各クラスで30分程度、自由に残って勉強することができます。
2. 『北小タイム』・・・年間を通して、4年生から6年生を対象に、基礎学力定着や、対策問題に取り組みました。

### 3. 『国語について』

「語彙」・・・三年生以上の学年では、辞書を活用した授業づくりに取り組んでいます。三年生では、国語辞典の使い方を、四年生では漢字辞典の使い方を指導し、辞書は机の横に常備しておき、国語科に限らず、どの教科でもいつでも使えるようするなどの工夫を行っています。わからない言葉が出てきたら自分で調べたり、新出漢字の学習の際は、漢字の意味や用法を調べたりしながら学習に向かう児童が増えてきました。今後、ますます語彙が重要になってくることが予想されますので、これまで以上に辞書を活用した学習に力を入れていきたいと考えています。

「読書」・・・読書が学力に及ぼす影響は、もはや疑う余地のないほどに様々な研究から実証されています。本校では、少しでも本を読む環境と、本好きの児童を増やしたいと考えています。毎週月曜、火曜、金曜は朝読書の時間を設定したり、秋には読書週間を設けたりしています。学校図書館の本もここ数年で大幅に増え、毎年魅力的な本が、たくさん図書館に入るようになりました。また、摂津市の図書館から借りてきた本を学級文庫として並べるなど読書好きを増やす活動にも力を入れています。

授業では、主に国語科の授業の発展として、本を活用したり、読書につなげたりする活動の機会を多くとっています。物語では、同じ作者の違う作品、似たような構造をもつ作品を読み、感想文を書いたり、人に紹介したりしています。説明文では、調べ学習やレポートにまとめる学習などを行っています。本の有用性やおもしろさを感じられるよう今後も取り組んでまいります。

「校内研究」・・・自分の意見をしっかり持ち、それを言語化できる子どもの育成を目指して、本校ではここ数年、「国語」と「道徳」の2本を全教員で指導案検討や研究授業を行いながら研究しています。この2教科の研究を、『鳥北ダブルブランド』として、摂津市内に留まらず、府内全域に広く発信しています。

特に国語科においては、今年度は「読むこと」を中心として、つけたい力を明確化し、学習過程全てを一から見直すという大きな変革をもたらす研究を行いました。

また、「中心人物」「要約」「具体・抽象」などの『学習用語』も統一して大切にしています。

今年度の国語科研究方針

## 一次、二次、三次 指導のねらい（物語文での具体例）

～ゴールを見据えた単元構成～

「できごとのつながりをとらえ、自分なりの考えを作っていく学習活動」を、単元を通して行うために、一次、二次、三次の指導のポイントを明確化した。

一次

音読・あらすじの確認  
書いてあることを書いてある通りに  
読む

**構造と内容の把握**

- ・学年に応じて時間かけてとらえる。
- ・「書いてあることをそのまま読む」ことを大切にする。「〇〇が～した。」等
- ・舞台をとらえる 人物をとらえる  
場面をとらえる  
解決すべき問題を見つける
- ・人物の基本的な設定、人物の願い、置かれている状況等をつかみ、人物像を考えていく。

二次

単元目標を達成するための詳細読み  
全体を通して課題を持って読む。  
焦点を絞って読む。

**精査・解釈**

- ・複数の課題を用意しておく。  
(教材研究)  
人物にせまる  
価値にせまる  
細部の表現にこだわる 等
- ・1時間ごとに課題を変えて読む。
- ・単元の目標や三次で行う学習につながるための詳細な読みの活動。

三次

・自分の考えを表現するための  
言語活動（アウトプット）

**考えの形成・共有**

- ・自分の考えを形成し、表現する。  
考えを伝え合う  
感想文・本の紹介  
ポスターをつくる  
物語の作者になる  
音読劇を行う 等

#### 4. 『算数について』

3年生から6年生の算数では、少人数分割授業を行い、3・4年生は、担任と指導改善加配で学年3分割、5・6年生は、担任と学年付き・指導改善加配の4分割で授業を行っています。

各学年、単元ごとに、習熟度別授業を行い、児童一人ひとりの実態に合ったコースに分かれ授業を行います。『ていねいコース』では、基本問題に丁寧に取り組み、確実に自分の力になるようにしています。『こつこつコース』では、基本問題に自分で取り組んだり、友だちとペア学習を行ったりし、定着を図っています。『すいすいコース』では、基本問題に自分の力で取り組み、その後発展問題に取り組めます。

今年度の算数の授業では、授業の初めに、計算力の向上を目指すために、基本的な計算や、100マス計算等について反復練習を行い、定着を図っています。

また、課題に対し、見通しを持つ→自分の考えを形成する→ペア交流やノートを通して、考えを表現する時間をもつ→全体で交流し、自分と違う考えに気づく→授業をふりかえる、という流れを基本に、どの学年も取り組んできています。

特に、自分の考えを表現することに力を入れ、用語を用いて説明したり、わかりやすく・ポイントをおさえて書いたりしてきました。繰り返し行うことで、自分で書くことができる児童も増えてきています。

#### 5. 『天下一自学大会』について

本校では今年度、摂津市学力テストに向けて、約3週間、自主学習に学校を挙げて取り組みました。

自主学習を進めるにあたって、国語・算数の自主学習プリントを各学年に設置し、いつでも手の届くようにし、児童が進んで自学できる環境をつくったり、給食準備中の時間を活用したランチタイム学習を行ったりしました。

教科書・ドリルを活用し、ノートにまとめてくる児童や、プリント学習を中心とした自学を行う児童など、それぞれ自分に合った形で、一生懸命取り組んでいました。

また、各クラスで児童が進んで取り組めるように、シールを貼ったり、班で取り組んだり、担任が様々な工夫をし、自主学習を推進していました。

そして、最終日には、クラスごとに期間中たくさん自学をした児童を表彰しました。

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓



実は「下敷き」になっています。